

5 . 松阪保健福祉事務所の取組

松阪保健福祉事務所の基本的な考え方については以下のとおりです。

健康づくり・保健予防活動をヘルスプロモーションの視点から見直し、再構築し、新しく展開していきます。

総合行政、地方分権、健康まちづくり、ユニバーサルデザインの視点からコミュニティエンパワメントを進めていきます。

市町、職域、学校分野、福祉分野、NPOなどとのネットワークを重視し、協働して健康環境の確立を目指します。

健康情報の共有だけでなく、安全、安心の食生活、ケアコーディネーション、セルフヘルスケアシステムなどの確立を目指します。



平成21年度の取組と成果

1 松阪地区地域・職域連携推進懇話会

健康づくりの推進については、生活習慣病の予防が重要であり、メタボリックシンドロームの予防をはじめとして、産業保健と連携した働く世代の健康づくりが非常に重要であると考え、「松阪地区地域・職域連携推進懇話会」を設置しました。

開催日：2月25日 委員数：22名

2 ヘルピー協働隊

「ヘルピー協働隊」とは、ヘルシーピープルみえ・21の活動に賛同した企業・団体等の有志の集まりです。情報交換することで松阪市および多気郡で活動する団体をつなぐネットワークを作りたいと考え、平成14年度に立ち上げ、現在66団体の参加があります。ヘルピー協働隊の活動としては、次のとおりです。

保健福祉事務所が開催する各種セミナー(学びすこやか塾など)への参加
健康に関する最新情報などを「ヘルピー協働隊通信」(メールマガジン)にて情報提供

ヘルシーピープルみえ・21の目標達成に向けた各取組を互いに応援し合う
「ヘルピーおでかけ隊」の活動

ヘルピー協働隊の集い

ヘルピー協働隊メンバーの企業、NPO、団体、市町等多くの方に参加いただき、新型インフルエンザの話題を中心に意見交換し、松阪地区地域・職域連携推進懇話会の立ち上げについて理解を得ることができました。

開催日：11月5日 参加者：31名

学びすこやか塾

平成 12 年度より松阪地方県民局独自の活動として継続しているセミナーで、ヘルピー協働隊メンバー等健康づくりに携わる関係者を対象に参加・体験型の健康学習を開催しています。

今年度はウォーキングを中心に運動の大切さを学びました。

開催日：2月10日 参加者46名

テーマ：「健康づくりのための運動」

講師：平岡健康開発研究所 平岡令孝 先生



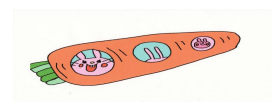
ヘルピー協働隊通信

健康に関する最新情報を「ヘルピー協働隊通信」（メールマガジン）にて情報提供しています。内容としては、健康づくりに関する各種月間・週間のお知らせ、イベント情報、インフルエンザ、メタボリックシンドローム等についてです。タイムリーな情報を発信することでそれぞれの活動の活性化を促しました。 13回/年発信

ヘルピーおでかけ隊

ヘルピー協働隊のメンバーがそれぞれの活動場面に出席し、健康づくり活動を応援し合います。保健福祉事務所は、調整役となり、他のメンバーに参加を呼びかけたり、主催団体の活動方針に応じ、企画段階から打ち合わせ会議に参加するなどして、協働活動を推進しました。

地域での協働活動は、次のとおりです。



< イベント >

- | | |
|--|-------------|
| 9/5(土)「シャープふれあいフェスティバル」 | 場所：シャープ三重工場 |
| テーマ：メタボ予防・栄養・歯・新型インフルエンザ・HIV 等
〔協働相手：シャープ(株)、松阪農林商工環境事務所〕 | 500人参加 |
| 9/13(日)「松阪市健康フェスティバル」 | 場所：松阪市民文化会館 |
| テーマ：メタボ予防・栄養・新型インフルエンザ・自殺予防
〔協働相手：松阪市、地域活動栄養士連絡協議会松阪支部〕 | 500人参加 |
| 10/1(木)「2009年度コープみえ商品・くらしの活動交流会」 | 場所：華王殿 |
| テーマ：メタボ予防・栄養・新型インフルエンザ
〔協働相手：生協コープみえ、三重農政事務所〕 | 300人参加 |
| 10/17(土)「いっしょに遊ぼう子育てフェスタ in 松阪」 | 場所：三重中京大学 |
| テーマ：栄養
〔協働相手：三重中京大学短期大学部、松阪子どもNPOセンター、地域活動栄養士連絡協議会〕 | 500人参加 |

11/21(土)秋の健育フェスタ
テーマ：メタボ予防・栄養・新型インフルエンザ

場所：ベルファーム
200人参加

< キャンペーン >

7/17(火)「未成年者喫煙防止キャンペーン」 場所：松阪駅周辺 テーマ：たばこ
〔協働相手：日本たばこ産業、松阪警察、たばこ販売業組合等ボランティア〕

11/11(水)「未成年者喫煙防止キャンペーン」 場所：松阪駅周辺 テーマ：たばこ
〔協働相手：日本たばこ産業、松阪警察、たばこ販売業組合等ボランティア〕

< 健康教育 >

8/26(水)「育児ヘルパー養成講習」 場所：さわやか福祉専門学校 テーマ：栄養 24
名参加

〔協働相手：シルバー人材センター〕

8回実施 延べ参加者数 約2,000名



松阪市健康フェスティバル
スタ

手洗い講習

いっしょに遊ぼう子育てフェスタ

食事バランスガイドの啓発

秋の健育フェ

スタ
血管年齢測定

ヘルパー協働隊メンバー
体

平成22年3月現在66団

< 企業 >

イオン(株)明和店 (株)オクトス (株)オークワ オムロン松阪(株) シャープ(株)
松和自動車学校 スローフードレストラン旬菜 野の花亭 世古精機(株) 大王運輸(株)
中部電力(株)松阪営業所 (株)トモ 日本たばこ産業(株) ニプロファーマ(株)伊勢工場
パナソニックエレクトロニックデバイス(株) (株)百五銀行松阪紀州支社 マックスバリュ中
部(株)

松阪証券(株) 丸大食品(株)松阪工場 三重金属工業(株)松阪工場
ヤマモリ(株)松阪工場・桑名工場

< NPO・団体 >

泉の会 伊勢フラダンス教室 嬉野歩こう会 栄養管理ネットワーク研究会 M.T.さくら
おんがくファームまんどろ 健康づくり嬉野Uの会 食育推進ネットワークプロジェクト会議
食育げんきッズ 丹生ボランティアクラブ フルフルM.I.T. 松阪子どもNPOセンター
松阪市ボランティアセンター 松阪農業公園ベルファーム(法人三重スローライフ協会)

3 食環境の整備

食事バランスガイド地域協働啓発

様々な団体と協働し、食事バランスガイドを活用した啓発活動を展開しました。

また、松阪地区食生活改善推進連絡協議会、栄養管理ネットワーク研究会、三重県料理業生活衛生業組合員と協働し、食事バランスガイドの活用を図るための研修を3回行いました。

食育の推進

幼児期の欠食を防ぎ、健康的な食生活を実践推進するために、食育関係者、市町栄養士等を対象に研修会を開催しました。

開催日：10月26日 参加者：36名

講義：「おいしさとうまみについて」 講師：味の素（株） 加古 美由紀 様

また、「いっしょに遊ぼう子育てフェスタ in 松阪」では、三重中京大学短期大学部食物栄養学科、三重県地域活動栄養士松阪支部と協働で、模擬コンビニを開店し、食育の啓発を行いました。

4 こころの健康づくり

こころの健康づくり研修

関係機関からの要請に応じ、企業や団体のこころの健康づくり事業を支援し、メンタルヘルス活動の推進を図る目的で、地域や職場からの依頼でこころの健康づくりについての研修会を実施しています。今年度は長井技研株式会社と三重県介護支援専門員協会松阪支部の方々に、ストレスやうつ病についての講義とリラクゼーションの実技を実施しました。

市町リスナー養成継続研修支援

これまで、大台町と多気町が地域でこころの悩みを持っている人に対し、身近な相談者とな

り、必要に応じ専門機関を紹介するなど対応ができる人（リスナー）を養成していますが、今年度は、多気町の継続研修支援を行いました。

松阪地域精神保健福祉連絡協議会（こころ元気会）

地域において、精神保健福祉活動が効果的にすすめられるように、管内の精神障がい

に携わる関係機関が集まって、毎年情報交換会や勉強会を年4回程実施しています。今年度は「精神障がい者地域移行支援」と「地域でとりくむ自殺予防」というテーマで研修会と話し合いをしました。また管外のグループホームや作業所の見学等を行いました。

自殺について考えるのは初めてだという関係者もいて、自殺の現状と課題について、関係機関と共有することができました。

自殺予防週間啓発

平成21年9月10日 松阪駅にて街頭啓発とティッシュの配付

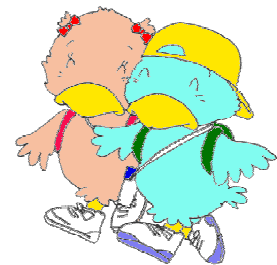
〃 9月13日 松阪市健康フェスティバル2009

ヘルピーおでかけ隊ブースにてパンフレット等配付

5 各種研修・セミナー開催

子ども食品衛生教室

食中毒の基礎知識や予防法を身につけるため、パワーポイントを用いて、食品の衛生的な取扱いや予防の重要性について講義形式で教育を行いました。その結果、3回71名に対し、子ども食品衛生教室を実施し、手洗いの大切さを伝えました。



平成22年度の方針、実施計画

1 松阪地区地域・職域連携推進懇話会

地域と職域が連携し、健康づくりを推進していきます。

2 ヘルピー協働隊

「ヘルシーピープルみえ・21」の目標達成のために、ITによる情報提供や地域での協働活動の推進、人材育成をおこないます。

3 食環境の整備

食事バランスガイドの普及啓発や食育の推進に取り組ながら、人材育成、食環境の整備に努めていきます。

4 こころの健康づくり

あらゆる分野の関係機関と連携しながら、こころの健康問題についての正しい理解と普及啓発を図ります。また地域や職域においてメンタルヘルスを推進するための人材を育成し、こころの健康づくりを支援できる体制を整備していきます。自殺予防の視点からも市町や企業とどのような協働ができるかを考えていきます。

5 健康増進計画策定支援（健康日本 21 地方計画策定支援）

ヘルシーピープルみえ・21 計画の周知、健康指標の把握、分析等を行います。